

A4.5 AusAID(オーストラリア政府)によるインドネシアへの支援

年	月	日付	出資機関	出資先/出資対象国	援助額	支援内容	メモ	HP アドレス
2004	12	26	オーストラリア政府 Minister for Foreign Affairs AusAID	-		オーストラリアの対応を調整するため、An Emergency Task Force of Senior Officialsが形成される	インドネシア、スリランカ、モルディブ、セイシェル諸島等を対象として	http://www.usaid.gov.au/hotspots/topic.cfm?id=9562_2054_7529_7688_4866#related
						AusAssist Plan (災害対応計画)が活動態勢に入る		
						救援物資		
						健康評価と治療のため医療チームを派遣		
						インドネシアとタイへのUNDACチームに四人を即時配置		
						津波被害評価のためスタッフを派遣		
スリランカ、タイ、インドネシアへ災害時後支援のためスタッフを派遣								
		27				物資・人材輸送のための ADF aircraft による直接支援		http://www.usaid.gov.au/media/release.cfm?BC=Media&id=3464_2546_5121_4660_2994
		27	オーストラリア政府 Minister for Foreign Affairs AusAID	Red Cross / UN Humanitarian Agencies (被災国)	\$10,000,000	(主にThe Red Cross や UN humanitarian agencies のような国際援助機関を通して)		http://www.usaid.gov.au/hotspots/pics/tsunami/relief.cfm
		29	オーストラリア政府 Minister for Foreign Affairs AusAID	UN, MSF, IMC (Indonesia) UN (Sri Lanka) Australian NGOs / INGOs	\$10,000,000 \$5,000,000 \$5,000,000	(主にインドネシアで活動する国際援助機関、及び国際医療活動機関 (MSF, IMC)を支援) 即時支援(食料、水、シエルター、衣料、医療ケア、緊急用電力、公共保健対策を含む) (主にスリランカで活動する国際援助機関を通して) 緊急国際援助活動 (主にAusAIDのアドバイザー・援助プログラムを支援) CARE, World Vision, Oxfam, CAA と協調し、より直接、被災コミュニティへの支援活動を行う	インドネシア、スリランカ、モルディブ、セイシェル諸島等を対象として ● 1)左記の総額\$60 million のうち\$25 million がUN機関へ割り当てられた。 ● 2)左記の総額\$60 million のうち\$12 million がオーストラリアNGO団体(The Australian Red Cross, IFRC等を含む)へ割り当てられた。	http://www.usaid.gov.au/hotspots/pics/tsunami/relief.cfm http://www.usaid.gov.au/media/release.cfm?BC=Media&id=4840_7962_9673_5430_1241
		30	オーストラリア政府 Minister for Foreign Affairs AusAID	オーストラリア市民外科・医療チーム オーストラリア人保健専門家、等 (Indonesia) UNICEF, WHO, IOM (Indonesia) IOM, WFP (Indonesia) UN機関 (Sri Lanka / Maldives)	\$5,000,000 \$7,500,000 \$7,500,000 \$5,000,000 \$5,000,000	タイ、モルディブを含む他の被災地への支援及びオーストラリア専門家・支援活動者の派遣。オーストラリア市民外科・医療チームの派遣。 緊急公共保健対策。特に予防保健、水・衛生 オーストラリア人保健専門家、給水衛生技術者、備品 UNICEF, WHO, IOM等の国際機関及び、地元イスラム教団体、女性団体を支援。 食料、シエルター、感染症予防・管理、避難民ケア IOM やWFPを通して遠隔地へのロジスティクス支援 国際機関による緊急公共保健ニーズに対する活動支援	http://www.usaid.gov.au/hotspots/pics/tsunami/relief.cfm http://www.usaid.gov.au/media/release.cfm?BC=Media&id=7965_8744_3763_6893_5708	

年	月	日付		出資機関	出資先/出資対象国	援助額	支援内容	メモ	HP アドレス
		Hot Topics内記載実施日	末日 ▲						
2004	12			オーストラリア政府 Minister for Foreign Affairs AusAID	The Australian Defence Forces, UN Joint Operations Centersと 協力の下		1,036トンの緊急人道支援(食料、水、医療物資、シエルト)		
2005	1	2		オーストラリア政府 Minister for Foreign Affairs AusAID ●	主にインドネシアで活動を行う 国際援助機関 (● 上記の総額\$60 millionの うちインドネシアでの支援活動 にあてられたセクター別内訳)	\$7,000,000 \$12,500,000 \$5,250,000 \$8,250,000	(オーストラリア首相ハンダアチア訪問) 食料、食料以外のアイテム 健康・衛生と水、衛生(下水)設備 シエルト 調整、支援サービス		http://www.ausaid.gov.au/hotto pics/tsunami/relief.cfm
2005	1	5		オーストラリア政府 Minister for Foreign Affairs AusAID	Indonesia (★The Australia Indonesia Partnership for Reconstruction and Development (5カ年)の一 部として)	\$500,000,000 (The grant aid) \$500,000,000 (The concessional loans)	小規模再建、被災地の社会・経済インフラの復興、人材育成開発・復興(工学、保健ケア、公共管理運営・自治の分野への大規模奨学金を含む) 大規模インフラの再建・復興		http://www.ausaid.gov.au/hotto pics/topic.cfm?id=9562_2054_75 29_7688_4864#related
							(ジャカルタでCSEAN Tsunami Disaster Summit 開催、オーストラリア首相出席)		

AusAIDがまとめた報告より、インドネシアを対象としたセクター別支援内容(緊急援助フェーズ/復興フェーズ)※								
2005	3	9	オーストラリア政府 Minister for Foreign Affairs AusAID	WFP, UNJLC, UNHCRと共同 The United Nations Disaster Assessment Coordination team と共同 WWF-Australia	Relief (資金提供⇒金額未表記) (資金提供⇒金額未表記) (資金提供⇒金額未表記) (資金提供⇒金額未表記)	Coordination and transportation Disaster management and logistics Health	支援活動の調整のため15人のスタッフ・職員を配置 支援物資輸送のため、航空機サービス計8機を提供 HMAS Kanimblaの250人の船員、150人のエンジニア、ヘリコプター2機、2上陸用舟艇、他支援活動にかかる物資 通信伝達装置・技術者を提供 8人のロジスティシャン、7人のエンジニアを配置 3人のオーストラリア人災害専門家配置 AusAID/Emergency Management Australia - UN liaison officer を支援(情報・ドナー関係システム設立のため) The Aceh NGO Forum, IDPs camps へロジスティクス管理を提供 ハンダアチアの病院 (Australian Defence Force field hospital) へ900のベッドを供給 緊急医療支援のための最高27人の医師、医療スタッフで編成される5チームを支援。4チームはハンダアチアの The Fakinah Hospital へ、1チームはThe Zainoel Abidin Provincial Hospitalへ ハンダアチアのThe Fakinah Hospital, The Jiwa Mental Hospital へ医療物資、装置の供給	2005年3月9日までのHot Topics内まとめ報告 http://www.ausaid.gov.au/hotto pics/topic.cfm?id=9562_2054_75 29_7688_4864#related

年	月	日付 Hot Topics内 記載実施日	出資機関	出資先/出資対象国	援助額	支援内容		メモ	HP アドレス
						Health	Water supply and sanitation		
2005	3	9	オーストラリア政府 Minister for Foreign Affairs AusAID	—	(資金提供⇒金額未表記)	Relief	Handganaアチエの保健アセスメントチームを支援(保健セクターの調整、心理・社会的ケアの支援、小児栄養、感染症、薬物・医療物資の各分野の専門家を含む)	2005年3月9日までのHot Topics 内まとめ報告 http://www.ausaid.gov.au/hotspots/topic.cfm?id=9562_2054_7529_7688_4864#related	
				—		Food and non food items	破傷風類ワクチン、破傷風免疫プロプリンの緊急供給		
				—		Assistance to the West Coast	Handganaアチエから輸送されてくる患者の支援のため、メダンのRS Pringandi Hospitalへ医療物資の供給		
				—		Education	WHO-Led Health Sector Assessmentへのチームメンバーの派遣		
				ADF Engineering Group		Education and Child Protection	Handganaアチエの水浄化プラントの供与		
				—		Livelihoods	Handganaアチエへ129,000個の20リットル水容器を配給		
				ADF Engineering Group		Governance	公共湯インフラの再建のため、The Zainoel Abidinでの瓦礫除去や排水路清掃を支援		
				—	(資金提供⇒金額未表記)		現状評価(支援の必要な地域を調べる)のための水・公衆衛生専門家の派遣		
				WFP	\$7,000,000		緊急食料、水、運搬の支援とThe UN Joint Logistics Centreの設立支援		
				World Vision			津波発生から最初の90日間で、non-food itemsを53,800人へ供与した。		
				WFP, TNT Express and CARE Australiaの共同			食料・水・医療物資の購入と運搬		
				—			Simeulue, Banyak, Calangへ食料・シエルター・医療物資輸送のため輸送船2隻をチャーター		
				International Surf Aid	(資金提供⇒金額未表記)		食料、水、シエルター設備と医療専門家Batu, Niasへ送る船をチャーター		
				International Surf Aid	(資金提供⇒金額未表記)		米・医療物資の2航空機による輸送		
CARE Australia	(資金提供⇒金額未表記)		Nias Islandの長期の医療支援/マラリア予防支援 西海岸沿いで活動するNGOの調整						
UNICEF	\$3,000,000		Simeulue / Banyak islandsの水・下水処理問題に関する長期プログラム実施						
Learning Assistance Program for Islamic Schools (LAPIS)	\$2,000,000		"school-in-a box"プログラムの提供						
—			中・高等教育レベルへの教材の提供						
—			生活再建の専門家を配置						
—			戦略的計画とコミュニケーション専門家の配置(The State Ministry of National Planning (BAPPENAS)の支援のための通訳サービスを含む)						
—			管理・統制アドバイザーの雇用(全体的な災害被害評価のため)						

年	日付	出資機関	出資先/出資対象国	援助額	支援内容	メモ	HP アドレス
2005	3	オーストラリア政府 Minister for Foreign Affairs AusAID	インドネシア・ドイツ政府と共同		Health, Water & Sanitation	バンダアチエの The Zainoel Abidin Provincial Hospital 病院の再建ニーズのアクセスメントを行う 最高30人で構成されたオーストラリア・インドネシア共同医療チームを最長3ヶ月間The Zainoel Abidin Provincial Hospitalでの活動を支援 バンダアチエの医療物資供給ネットワーク再建の支援 重要なインフラ、人材の提供	2005年3月9日までのHot Topics内まとめ報告 http://www.ausaid.gov.au/hotspots/topic.cfm?id=9582_2054_7529_7688_4864#related
			—		Rehabilitation		
			—				
			—				
			—				
			—				
			A malaria prevention NGO と共同				
			—				
			—				
			—				
2004	4	オーストラリア政府 Minister for Foreign Affairs AusAID	WFP, UNJL, UNHCR と共同		Coordination and transportation	アチエへのオーストラリアボランティアの配置計画支援 支援活動の調整のため15人のスタッフ・職員を配置 支援物資輸送のため、航空機サービス計8機を提供	"Australia's response to the Indian Ocean disaster Report for the period 26 Dec. 2004 to 15 Apr. 2005" より http://www.ausaid.gov.au/publications/pdf/tsunami_report_april_05.pdf
			The United Nations Disaster Assessment Coordination team と共同		Disaster management and logistics	HIMAS Kanimblaの250人の船員、150人のエンジニア、ヘリコプター2機、2上陸用舟艇、他支援活動にかかる物資 通信伝達装置・技術者を提供 8人のロジスティシアン、7人のエンジニアを配置	
			—				
			—				
			—				
			—				
			—				
			—				
			—				
			—				
—							
2004	15	オーストラリア政府 Minister for Foreign Affairs AusAID	WWF-Australia		Health	3人のオーストラリア人災害専門家配置 AusAID/Emergency Management Australia - UN liaison officer を支援 (情報・ドナー関係システム設立のため) The Aceh NGO Forum, IDPs camps ヘロジスティックス管理を提供	"Australia's response to the Indian Ocean disaster Report for the period 26 Dec. 2004 to 15 Apr. 2005" より http://www.ausaid.gov.au/publications/pdf/tsunami_report_april_05.pdf
			—		Relief	バンダアチエの病院 (Australian Defence Force field hospital) へ90のベッドを供給	
			—				
			—				
			—				
			—				
			—				
			—				
			—				
			—				
—							

A4.6 AusAID(オーストラリア政府)によるスリランカへの支援

年	日付		出資機関	実施機関	援助額	支援内容	メモ	HP アドレス
	月	日						
2004	12	26	オーストラリア政府 Minister for Foreign Affairs AusAID	-		オーストラリアの対応を調整するため、An Emergency Task Force of Senior Officialsが形成される		
		27		-		AusAssist Plan (災害対応計画)が活動態勢に入る		
		災害発生後36時間以内		-		健康評価と治療のための医療チームを派遣		
		災害発生後36時間以内		-		インドネシアとタイへのUNDAOCチームに四人を即時配置	インドネシア、スリランカ、モルディブ、セイシェル諸島等を対象として	http://www.ausaid.gov.au/hotspots/topic.cfm?id=9862_2054_7529_7688_4864#related
		災害発生後36時間以内		-		津波被害評価のためスタッフを派遣		
		災害発生後36時間以内		-		スリランカ、タイ、インドネシアへ災害時後支援のためスタッフを派遣		
		27	オーストラリア政府 Minister for Foreign Affairs AusAID ●	Red Cross / UN Humanitarian Agencies (被災国)	\$10,000,000	(主にThe Red Cross や UN humanitarian agencies のような国際援助機関を通して) 援助活動を支援するため	http://www.ausaid.gov.au/hotspots/tsunami/relief.cfm	
		29	オーストラリア政府 Minister for Foreign Affairs AusAID ●	UN, MSF, IMC (Indonesia)	\$10,000,000	(主にインドネシアで活動する国際援助機関、及び国際医療活動機関 (MSF, IMC) を支援) 即時支援(食料、水、シエルター、衣料、医療ケア、緊急用電力、公衆衛生対策を含む)		
				UN (Sri Lanka)	\$5,000,000	(主にスリランカで活動する国際援助機関を通して) 緊急国際援助活動	インドネシア、スリランカ、モルディブ、セイシェル諸島等を対象として	http://www.ausaid.gov.au/hotspots/tsunami/relief.cfm
				Australian NGOs / INGOs	\$5,000,000	(主にAusAIDのアピール・援助プログラムを支援) CARE, World Vision, Oxfam CAA と協調し、より直接、被災コミュニティへの支援活動を行う	● 1)左記の総額\$60 millionのうち\$25 million がUN機関へ割り当てられた。	http://www.ausaid.gov.au/media/release.cfm?BC=Media&id=4840_7962_9673_5430_1241
				オーストラリア市民外科・医療チーム	\$5,000,000	タイ、モルディブを含む他の被災地への支援及びオーストラリア専門家・支援活動者の派遣。オーストラリア市民外科・医療チームの派遣。	● 2)左記の総額\$60 millionのうち\$12 million がオーストラリアNGO団体(The Australian Red Cross, IFRC等を含む)へ割り当てられた。	http://www.ausaid.gov.au/hotspots/tsunami/relief.cfm
		30	オーストラリア政府 Minister for Foreign Affairs AusAID ●	オーストラリア人保健専門家、等 (Indonesia)	\$7,500,000	緊急公衆保健対策に予防保健、水・衛生オーストラリア人保健専門家、給水衛生技術者、備品		http://www.ausaid.gov.au/hotspots/tsunami/relief.cfm
				UNICEF, WHO, IOM (Indonesia)	\$7,500,000	UNICEF, WHO, IOM等の国際機関及び、地元イスラム教団体、女性団体を支援。食料、シエルター、感染症予防・管理、避難民ケア		http://www.ausaid.gov.au/media/release.cfm?BC=Media&id=7965_8744_3763_6893_5708
				IOM, WFP (Indonesia)	\$5,000,000	IOM やWFPを通して遠隔地へのロジスティクス支援		
				UN機関 (Sri Lanka / Maldives)	\$5,000,000	国際機関による緊急公衆保健ニーズに対する活動支援		

日付		出資機関	実施機関	援助額	支援内容	メモ	HP アドレス	
年	月							
2004	12	オーストラリア政府 Minister for Foreign Affairs AusAID	主にスリランカで活動を行う国際援助機関 (● 上記の総額\$80 millionのうちスリランカでの支援活動にあてられたセクター別内訳)	\$4,000,000	食料、食料以外のアイテム		http://www.ausaid.gov.au/hottopics/tsunami/relief.cfm	
	30			\$4,000,000	教育			
				\$2,500,000	健康・衛生と水、衛生(下水)設備			
				\$2,250,000	環境			
				\$1,000,000	シェルター			
				\$500,000	調整、支援サービス			
		オーストラリア政府 Minister for Foreign Affairs AusAID	—		5人のスタッフによる公衆衛生チームを派遣し、感染症発症の防止と監視を強化できるエリアを特定するための即時評価を実施した。重要な医療物資とともに到着し、9日間アセスメントを行い、スリランカ政府・WHOへ重要な公共保健について提言を行う。	http://www.ausaid.gov.au/hottopics/topic.cfm?id=9562_2054_75 http://www.ausaid.gov.au/hottopics/tsunami/brief.cfm		

AusAIDがまとめた報告より、スリランカを対象とした(セクター別)支援内容※							
			WFP		食料援助、運搬業務		http://www.ausaid.gov.au/hottopics/topic.cfm?id=9562_2054_75 29_7688_4864#related
			UNICEF		水と衛生(下水)設備、健康・公衆衛生プロモーション、一時的(臨時)学級、教材		
			UNHCR		避難民のための臨時宿泊施設キャンプ		
			Australian Foundation for the Peoples of Asia and the Pacific (A FAP)		緊急援助、医療物資、トラウマカウンセリング		
			Oxfam Australia		水、食料、健康ケア専門家の配置、household items		
			Marie Stopes International Australia		再生産的健康と心理・社会的ケアサービス		
			AUSTCARE		性的暴行の防止		
			International Women's Development Agency		津波災害からの復旧活動への女性の動員		
			Uniting Church Overseas Aid		トラウマカウンセリング、緊急援助物資の提供		
			Interplast		プラスチック・再構築外科手術用具とそのサービス		
			National Council of Churches Australia		救急手当て、家の補修		
2005	3	オーストラリア政府 Minister for Foreign Affairs AusAID					2005年3月9日までのHot Topics内まとめ報告 http://www.ausaid.gov.au/hottopics/topic.cfm?id=9562_2054_75 29_7688_4864#related

年	月	日付 Hot Topics内 記載実施日	出資機関	実施機関	援助額	支援内容	メモ	HP アドレス			
2005	4	15	オーストラリア政府 Minister for Foreign Affairs AusAID	CARE Australia	Health, Medical and Emergency Relief	Family packs (衣料、ベッドシート、石鹸等)2,000セットの供与、4,500世帯のための食料パック、non-food kits 5,335セット、4,059本の水ボトルの供与 3,000世帯に向けてfood and non-food itemsを提供。さらに調理済み食料を14,000人へ提供した。 10,000人の村の食料配給を実施 学校教材、衣料 瓦礫除去作業の支援 141,000人へのnon-food items の提供 (マットレス、シエルター、家庭用品、蚊よけネット、テント1,600個等) 7,000枚のビニールシート Family kits 25,000 セットの供与10,000 着の衣料の提供 衛生キット30,000セット提供 non-food items (毛布7,000枚、5,850枚のプラスチックシート) 28ヶ所の子供も安全なスペースと16ヶ所の遊戯場を設置 子供と一緒に活動できるカウンセラーを訓練し、配備する ランプ、衣料、教材、調理用具の提供 コミュニティの保健活動プロモーター20人と、保健ボランティア93人を訓練し、10,246人の依頼者へ再生産保健サービスを提供し、3,000人へ心理・社会支援、特にトラウマケアを行う。 926人の女性へ、カウンセリングを行った。2つのコミュニティがホストとなり、津波によってトラウマを抱える。女性が、食料やシエルターを受け取るよう確認 356戸の臨時の家を建てる。243世帯ヘランタン、調理道具、石油コンロ、皿、コップを提供。14,923人の生徒には学校用品と制服を提供。51人の保健活動従事者による心理社会ケアサービスを提供 15トンの医療、薬、外科アイテムをスリランカ・モルディブへ貨物輸送 \$25,000 相当の医療物資をガール(地名、スリランカ)へ供与 8トンの水ボトルを津波によって水へのアクセスが困難なコミュニティへ提供する(輸送コストはオーストラリア政府の資金より) 1,500世帯へ163箇所トイレ、水タンクを建設 40個の水タンクを提供。新しいポンプにより、204箇所の井戸を清掃 トイレを60箇所建設 各家庭の井戸を排水し、塩素で消毒 cash-for-workのような小規模インフラプロジェクトの計画を支援。瓦礫除去を行う	*Australia's response to the Indian Ocean disaster Report for the period 26 Dec. 2004 to 15 Apr. 2005"より http://www.ausaid.gov.au/publications/pdf/tsunami_report_april_05.pdf				
				Oxfam / CAA				Health, Medical and Emergency Relief	Water supply and anitation	15トンの医療、薬、外科アイテムをスリランカ・モルディブへ貨物輸送 \$25,000 相当の医療物資をガール(地名、スリランカ)へ供与 8トンの水ボトルを津波によって水へのアクセスが困難なコミュニティへ提供する(輸送コストはオーストラリア政府の資金より) 1,500世帯へ163箇所トイレ、水タンクを建設 40個の水タンクを提供。新しいポンプにより、204箇所の井戸を清掃 トイレを60箇所建設 各家庭の井戸を排水し、塩素で消毒 cash-for-workのような小規模インフラプロジェクトの計画を支援。瓦礫除去を行う	
				Australian Foundation for Peoples of Asia and the Pacific (AFAP)							Water supply and anitation
				AFAP							
				AFAP							
				Australian Red Cross							
				Australian Red Cross							
				Australian Red Cross							
				Australian Red Cross							
				World Vision							
				World Vision							
				Uniting Church Overseas Aid							
				Uniting Church Overseas Aid							
				Marie Stopes International Australia							
				International Women's Development Agency							
Ntional Council of Churches Australia											
(Australian health and relief organisations の寄付) Interplast Australia											
(Australian pharmaceutical industry の寄付) Oxfam / CAA											
AFAP											
AFAP											
Uniting Church Overseas Aid											
UNDP											

日付		出資機関	実施機関	援助額	支援内容	メモ	HP アドレス
年	月						
		オーストラリア政府 Minister for Foreign Affairs AusAID	—		たぐさんのオーストラリア医療・援助団体から寄付された医療・薬物・外科用物資の供与が2つの貨物船により実施(1月・2月にスリランカに到着予定)		http://www.ausaid.gov.au/hottopics/topic.cfm?id=9562_2054_7529_7688_4864#related
	▲		The Australian High Commission in Colombo		The Direct Aid Programより、いくつかの小額即時援助を承認(Hikkaduwa, Batticaloa, Sainthamarutha, Tricomaleeを対象)		
	▲		—		AusAIDスタッフを支援活動を助けるためThe Australian High Commission in Colombo に配置。その後UNICEF Sri Lankaで支援活動の調整に取り組む。		
	▲		UNDP	\$ 1,000,000	The Australian Community Rehabilitation Programの下で、小規模インフラ復旧(瓦礫除去、cash-for-work 活動等)		
	▲		UNICEF	(資金提供⇒金額未表記)	緊急衛生・教育用道具一式、トラウマ障害を持つ子供のための心理カウンセラーの配置		

※ 2005年1月5日までにオーストラリアが津波災害支援としてあてた資金の支援内容としてまとめているが、各支援別日付・援助金額は明記されていない。(3月9日時点/4月15日まで時点のまとめ報告から)

— AusAIDが実施機関の可能性があるが、明記されていない。

▲ 3月9日と4月15日付以外で具体的な支援内容が示されているものを追加して記載している。

出典: www.ausaid.gov.au

A4.7 UNDPによるインドネシアへの支援

Update #	日付		出資機関	実施機関	援助額	支援内容	メモ	情報ソース (IS)
	年	月						
	2004	12	—	UNDP		(災害発生直後、BCPR(Delhi/Geneva Office)は、情報収集を開始しその結果、緊急援助資金を直ちに拠出し、技術スタッフの即時派遣の準備を始めた。)		UNDP Geneva
2		28	UNDP Bureau for Crisis Prevention & Recovery (BCPR)	UNDP	US\$100,000 *	(BCPR) The Indonesia country team が政府の被害状況・支援ニーズの評価団に参加。災害復旧専門家等スタッフの派遣準備。 UNDP スタッフが、UNDAC チームが行うアチエでの評価活動に参加。	* Trac 1.1.3 緊急用資金を拠出	UNDP Geneva
4		30	—	UNDP		2人のUNDP/BCPR 災害復旧専門家の派遣		UNDP Geneva
5	2005	1	—	UNDP	要請額 US\$33,500,000 *1	*1 UNDPとしてフラッシュ・アピールを要請 1,640,000世帯を対象に、住居・水の供給、2)小規模漁村への復旧のため短期雇用の提供、3)瓦礫除去、インフラ復旧、長期復興活動、等		UNDP Geneva
		8	—	UNDP		5人のスタッフ(コンサルタント2人、ボランティア2人、UNDPプログラムオフィサー) 派遣団がジャカルタからアチエへ到着した。 プログラム策定のため、早速会合を開き協議した。		
			—	—	—	避難民 (IDPs) ヘテントの配布		Daily Update from Aceh
			UNDP	—	US\$83,000	瓦礫除去プログラムの実施 310人の被災漁師による海岸の清掃		
			UNDP	—	—	瓦礫除去プログラムのための8台のダンプカーとブルドーザーが明日到着予定		
		9	—	UNDP		新しいスタッフが発日間の情報収集のためハンダアチエに到着した。		Daily Update from Aceh
			—	UNDP		ジャカルタから新しいプログラムオフィサーが到着し、これでハンダアチエを拠点とするUNDPスタッフは3人、ボランティアは7人になった。		
			—	UNDP		IOMとロジスティクスについて協議するために会合を開いた。		
		10	—	UNDP		Ongoing Situation Assessment UNDPチームメンバーは、IDPキャンプ数ヶ所を状況視察。南西部のLambaruku, Lambaya と最大のIDPキャンプである東部のJantho などを行く。2日間で、個人、家族のニーズを知る短いが複雑なサンプリングを行った。		Daily Update from Aceh
			UNDP	地元業者 (ACACA)	—	地元業者 (ACACA)によって重機を使ったUNDPの瓦礫除去プロジェクトが始められた。		
			—	インドネシア政府		インドネシア政府による国連と共同のA Joint Disaster Management Centre (DMC)を設立		TSUNAMI RELIEF MEDIA CENTRE

Update #	日付		出資機関	実施機関	援助額	支援内容	メモ	情報ソース (IS)
	年	月						
6	2005	1	—	UNDP	US\$71,500,000 要請額 ◇2	UNDP独自にブラッシュアップ・アピールを要請	◇2 US\$174,700,000 がインドネシアを含む津波被災国・地域を対象に割り当てられ、うち US\$71,500,000がインドネシアへ	UNDP
						◇2 セクター別 内訳		
						シエルトナー・食料以外のセクター支援		
						経済・インフラ再建セクター支援 安全保障セクター支援		
						UNDP Tsunami Task Force を形成	インドネシアを含む津波被災国・地域を対象に	
					—	390世帯にテント(5人収容可)と、IDPキャンプへ39セットの大規模テントをバンドアチエ周辺で配布した。これらの家族用テントと大規模テント19セットは、Banda Aceh, Aceh Besar の3ヶ所のキャンプでNGOパートナーを通じて配布され、大規模テント20セットは瓦礫除去活動の現場で利用することを考えている。		
					—	The Public Works department を2つの瓦礫除去イニシアティブによって支援している。		Daily Update from Aceh
					—	暮らし(Livelihoods)とシエルトナー(Shelter)のWorking Group での活動を行う。		
					—	NGO Yotosan Panglima Laot の運営でThe Zainal Abidin General Hospital の内装の清掃を行った。		
					—	2日間で地元業者(ELSAKA-Medan)による重機を使った瓦礫除去活動が行われた。		Daily Update from Aceh
					—	昨夜から今日までテント、キャンプ用具の配布と技術的支援が引き続き行われている。		
					—	スタッフの1人はHICチームのと13日ムラボへ4-5日間派遣される。		
					—	The Minister of Public Works (UNDPの協力のもと)		UNDP Communications Office
					—	雇用と瓦礫除去活動を拡大することを決定し、その清掃活動者を600人へのばすことを目指す。		Daily Update from Aceh
					—	Darusalam camp を訪れ、避難民(IDPs)の数の確認と彼らのニーズを聞く。		Daily Update from Aceh
					—	HICの情報とデータベース管理を行うためスタッフを派遣した。数ヶ月滞在予定。		Daily Update from Aceh
					—	約50世帯に家族用テントを配布した。		Daily Update from Aceh
					—	バンドアチエの古い港の復興のためCIMIC (civil-military cooperation) と会合を開いた。		Daily Update from Aceh
					—	州の権威者にThe Integrated Disaster Management System についてアドバイスし、このシステムの設置を行う予定。		Daily Update from Aceh

Update #	日付			出資機関	実施機関	援助額	支援内容	メモ	情報ソース (IS)
	年	月	日						
2005	1	25	(17)	—	The Australian Engineer Corps (UNDPの協力のもと)		UNDP's labor-intensive cleaning programme を通して、避難民 (IDPs) に対して、2日間の瓦礫除去・清掃作業のスキルトレーニングの提供		UNDP
		31			UNDP (これまでのまとめ報告として)		Provision of heavy equipment inputs for cleaning Tsunami debris 1月10日から、重機 (8 dump trucks, 4 bulldozers, 4 back hoes and 1 loader) を使った瓦礫除去と雇用 (cash-for-work) 活動がバンダアチエで行われている。60人の作業員に加え先週28機の新たな重機とともに56人の作業員が関わった。 Labour intensive cleaning of public service facilities その活動はこれまで2,000人まで拡大した。現在、フェーズ2のチームは、50人の女性は病院での清掃にいたり、100人は軍の空港に派遣され、2日間清掃活動を行い、30人が空港に残る予定。 廃棄物管理の技術アドバイザーがバンダアチエで、津波で出た廃棄物の環境管理について地元権威者などとアセスメントを行う。 Emergency Public Employment Services Network in Aceh ILOの支援を行う。 Shelter and Housing これまで、1,900世帯へ家族用テントと40の大規模テントを配布した。 Institutional Support for local Government and Civil Society SATKORLAK ヘコンピューター装置を提供し、The Aceh NGO Forum へも提供する。 HIC (Humanitarian Information Centre) を支援する。		Update Report UNDP Emergency Response and Transitional Recovery Support in Aceh
	2	4		—	UNDP (インドネシア政府の協力のもと)	—	適正な廃棄物管理・リサイクルイニシアチブの開始⇒パイロットプロジェクトでは100人ほどの即時雇用を生み出す。 (1,000人:バンダアチエ, 30,000人: 全地域に拡大予定)		
		14			UNDP		長期の復興ニーズを知るためのアセスメント活動を行う。		Update Report UNDP Emergency Response and Transitional Recovery Support in Aceh
		24		—	OCHA, UNDP, UNICEF, WHO UNDP UNDP		メダンでプロジェクト活動支援をするオフィスの設立を支援している。このオフィスはOCHA, UNDP, UNICEF, WHO で共有している。 UN-HABITATと協力して、アチエ州の居住再建の支援プログラムの活動を行う。 支援活動、内容の影響、有効性を監視することを各機関へ要請する提案書を発行した。UNDPが資金の振り分けをどのように行うかの参考になる情報を収集する。		Update Report UNDP Emergency Response and Transitional Recovery Support in Aceh
		28		UNDP			病院 (Ganda Aceh's Abidin General Hospital) 建設のため400人のcash-for work 活動従事者を雇用。		

一: UNDPと思われるが、出資機関、出資額は、明記されていない。

IS: 情報源 (Information Source)

出典: www.undp.org/bcpr/disred/documents/tsunami/indonesia

www.undp.org/bcpr/disred/

A4.8 UNDPによるスリランカへの支援

Update #	日付		出資機関	実施機関	援助額	支援内容	メモ	情報ソース (IS)
	年	月						
2004	12	27	—	UNDP	—	(災害発生直後、BCPR(Delhi/Geneva Office)は、情報収集を開始しその結果、緊急援助資金を直ちに拠出し、技術スタッフの即時派遣の準備を始めた。)	*1 2004年の5月と12月に発生した洪水に対して既に割り当てられた	UNDP Geneva
		(27)	UNDP/BCPR	—	UNDP/BCPR	US\$100,000 *1		
2		28	—	—	—	BCPR's Regional Disaster Reduction Advisor for South West Asia と UN Volunteer をコロンボへ派遣		UNDP Geneva
						さらに3人のUNVsの派遣準備		
3		29	—	UNDP Field Offices	—	地域の管理・執行部(Administrators)の支援		UNDP Disaster Reduction Unit (DRU)
						災害管理にあたるUNVsチームの派遣		
5	2005	1	—	UNDP/CO	—	臨時に情報公開・共有のための津波災害ウェブサイトを運営		UNDP Geneva
						★1 UNDPとしてフラッシュアップを要請 1)12,000世帯を対象に、住居再建、2)小規模漁村への復旧のため短期雇用の提供、3)地元企業の強化、4)インフラ復旧、長期復興活動、等		
6		10	—	UNDP	要請額 US\$25,100,000 ◇2	UNDP独自にフラッシュアップを要請	◇2 US\$174,700,000 がインドネシアを含む津波被災国・地域を対象に割り当てられ、うち US\$25,100,000がスリランカへ	UNDP
						◇2 セクター別 内訳		
					US\$8,000,000	暮らし再建セクター支援		
					US\$4,100,000	インフラ復旧セクター支援		
					US\$3,000,000	地雷対策セクター支援		
					US\$7,000,000	キャパシティ・ビルディングセクター支援		
					US\$3,000,000	環境セクター支援		
					US\$250,000 *2	Galle と Hambantota に調整オフィスを設置し、周辺地域へ即時復興プロジェクトを行う。	*2 Trac 1.1.3 緊急用資金として	UNDP
						(※BCPR, UNDGO, OABOM, BRSP, COA, OHR, TDC Unit, REAP)	※特定の対象国の言及はなし	

Update #	日付			出資機関	実施機関	援助額	支援内容	メモ	情報ソース (IS)
	年	月	IS 発行日 ISPI 記載 受審日						
	2005	2	2		The regional team of UNDP/BCPR (South and South West Asia)		スリランカでの災害被害等のデータバンク構築のためのsystematic disaster inventoriesのコンセプト紹介		UNDP DRU
		3	15	—	The Ministry of Constitutional Affairs and National Integration in Sri Lanka (UNDPの協力の下)	—	Mobile documentation clinicsが、津波生存者のための法的資料等に関する無料のアドバイス・サービスを実施。		

一： UNDPと思われるが、出資機関、出資額は、明記されていない。

IS: 情報源 (Information Source)

出典: www.undp.org/bcpr/disred/documents/tsunami/indonesia

www.undp.org/bcpr/disred/

A4.9 UNICEFによるインドネシアへの支援

年	月	日付		出資機関	実施機関	援助額	支援内容	メモ
		情報ソース発行日	情報ソース内記載実施日					
2004	12	27	—	UNICEF	—	コペンハーゲンで医療物資、子供用栄養食料物資、水浄化タブレット、シエルトター装備品の荷積みを行った。		
		28	—	UNICEF	—	緊急保健キットを乗せた輸送機が望日コペンハーゲンを発つ予定		
		29	—	UNICEF	—	大規模なUNアセスメントチームの一員としてUNICEFのスタッフがアチエ州の緊急ニーズを調べるために向かった。		
		29	Jackie Chan (UNICEF Goodwill Ambassador) ★1	UNICEF	US\$64,000 ★1	UNICEFは物資の基準リストをつくり、様々な種類の災害緊急対応に備えている		★1 津波災害援助支援としてThe New World Group を介してUNICEFへ寄付された
		31	UNICEF	—	—	緊急医療物資(医薬品を含む)、毛布、プラスチックシート、テントの供給を行う		
2005	1	3	UNICEF	—	—	3. 8トンの物資がJakarta's Soekarno Hatta airport の関税を通過。これらは、緊急医療用具一式、対マラリアタブレット、水浄化用タブレット、経口再水和塩(oral rehydration salts to combat dehydration in children suffering diarrhoea)、救急箱等で20万人、2週間分を十分に供給できる。		
		3	UNICEF	—	—	人命救助物資が供給された		
		3	UNICEF	—	—	毛布、テント、プラスチックシートの他、8,000枚の防水布が到着した。		
		3	UNICEF	—	US\$10,000,000相当の物資支援	物資支援が2-3週間のうちに到着予定		
		3	UNICEF	NGO	—	初めてのThe child centre をMedanに設置し、家族再会、心理・社会的ケア支援、孤児等のための臨時宿泊施設に関して活動を行う		
		4	—	(The Indonesian Department of Social Services)	—	UNICEF Executive Director Carol Bellamy が視察。同時にユニセフの支援する医薬品、シエルトター物資を供給		
		7	—	UNICEF	—	(児童虐待対策のためのChild registrationが開始)		
		7	—	UNICEF (WHOの協力のもと)	—	はしか発症防止活動の実施(予防注射とビタミンAの提供)		
		7	UNICEF	UNICEF	—	マラリア予防活動、破傷風血清の供給		
		7	UNICEF	UNICEF	—	10,000世帯を対象とした追加の医療用具一式を調達		
		8	—	The public Danish TV stations	\$35,000,000 ●2	UNICEF Denmark、人道支援団体のための資金調達プロモーション(16時間で\$35 millionの寄付が集まった)		●2 UNICEF Denmark、人道支援団体の津波支援活動に向けて
		12	—	UNICEF	要請額 \$144,500,000 △3	△3 UNICEFとしてアピールを要請 150万人といわれるアジアの被災児童の緊急人道支援のため。		
		12, 13	—	David Beckham (UNICEF Goodwill Ambassador) Manchester United football 選手 ■4	—	■4 30秒間の公共アナウンスサービスで、寄付を呼びかける		■4 世界のUNICEFオフィスの資金調達支援とUNICEF緊急援助活動を支援

年	月	日付		出資機関	実施機関	援助額	支援内容	メモ
		情報ソース 発行日	情報ソース内 記載 実施日					
2005	1	12	◇5	日本政府 ◇5		US\$70,000,000 ◇5		◇5 UNICEFへ寄付
		13	★6	Manchester United (The football club) ★6	Manchester United (The football club) ★6	21,720 pounds ★6	試合中にファンから集めた	★6 UNICEFへ寄付
			○7	Manchester United (The football club) ○7		50,000 pounds ○7		○7 UNICEFへ寄付
			▲8	Manager and his player of Manchester United ▲8		100,000 pounds ▲8		▲8 UNICEFへ寄付
			■9	Association of Tennis Professionals (ATP) ■9		\$40,000 ■9		■9 UNICEFへ寄付
		24			Latin America and Caribbean の 国々 (チリ、メキシコ、ブラジル、アルゼ ンチン、ガイアナ、エクアドル、コ ロンビア、ベネズエラ) ★10	\$1,500,000 ★10	津波被害被災者のための義援金調達活動を支援 (1月24日時点で)\$1.5 million の寄付を集めた	★10 UNICEFへ寄付
		25		The British national carrier	The British national carrier	—	British Airways が週に10回のフライト*1でUNICEFの緊急援助物資輸送を支援 する。 (無償。3月まで)	*1 津波被災国を対象。特にコペ ンハーゲンとスリランカ・インドネシ ア・モルディブ間を飛ぶ UNICEFへ寄付
				British Airways		—	これまで、"Change for Good"プログラムによる18 million pounds (\$33 million)の 義援金調達を実施。1月にプログラムにより集められた寄付全額をUNICEFの津 波支援へ寄付する	
					The Read-a-Thon!に参加している 1,300人以上の小学生(New York) ○11	US\$40,000 ○11	○11 義援金調達活動を支援	○11 UNICEFの津波支援にむけ て寄付
		26		UNICEF	UNICEF	—	学校再開に伴い、まだ機能している学校1校1校に、教育用具一式 (school-in-a- box kits) 4セットとスポーツ等のお楽しみキット (recreational kits) 2セットを配布し た。ポート、トラック、飛行機を使って、アチエ隔海輸送支援も行った。これは UNICEFの学校学習再開キャンペーンの一環。	
		31		New York's Chinese Community △12		\$180,000 △12		△12 UNICEFへ寄付
2		25		—	UNICEF/The European Humanitarian Aid Office (ECHO)	—	アチエ州内の下水処理設備、水施設の向上	
				ECHO	—	—	10,000セットの衛生用具一式(石鹸、タオル、サロン、歯磨き粉等)の供給	
				—	UNICEF/The European Humanitarian Aid Office (ECHO)	—	飲料水・廃棄物処理設備の提供	

年	月	日付		出資機関	実施機関	援助額	支援内容	メモ
		情報ソース発行日	情報ソース内記載実施日					
2005	3	1		UNICEF	UNICEF	---	一月の中旬より長期的児童心理・社会的回復ケアの支援に焦点をあてている 今後この重要な活動を継続させるため、ボランティアへUNICEFが行っている活動のスキル等のトレーニングを行う。 学校の被害状況評価、復興支援 さらに、1,000人の教師を雇うことを提案している 今後3年間に、250校の学校の復興とアチエの全ての学校(primary school)の教材を提供するため出資を予定している	* 2 今後3年間に
		21		UNICEF	UNICEF			
				UNICEF	UNICEF	\$80,000,000 * 2		
これまでのまとめとして※								
2005	3	23			UNICEF		238,384人の子供にはしかのワクチンとビタミンAの供給 栄養不足の小児・妊婦のための5つのSupplementary feeding centersの設置 サプリメント・医薬品の提供 迷子・孤児等の追跡・登録のためのセンターをアチエに17ヶ所設置 小児擁護問題等に対するインドネシア軍人・女性警察官にトレーニングを実施 1月26日の学校再開以降、“Back-to-Learning”のキャンペーンを開始 仮設の学校や生徒が寮に滞在している学校の追加スペースの供給 2,000人の新しい先生を招集 衛生道具一式の供給、防水布の設置、トイレへのアクセスの確立、1日約120,000リットルの飲料水の供給 水に関連する物資(タンク・ポンプ等)の供給、浄化水供給システムの復旧 衛生教育の徹底 他緊急物資(料理道具、蚊よけネット、経口再水和塩(oral rehydration salts)、防水布、教育道具一式(School-in-a-box kits)、レクリエーション用具一式)の供給	

※: UNICEFが津波災害支援としてインドネシアを対象とした支援内容がまとめられているが、各支援別日付、援助金額は明記されていない。(3月23日時点のまとめ報告から)

一: UNICEFの可能性があるが、出資機関、出資額は、明記されていない。

出典: www.unicef.org/emerg/disasterinasia

A4.10 UNICEFによるスリランカへの支援

年	月	日付		出資機関	実施機関	援助額	支援内容	メモ
		情報ソース発行日	情報ソース内記載実施日					
2004	12	27	—	UNICEF	UNICEF	—	政府のシエルター物資要請のリクエストに成えて、30,000枚の毛布とマット、Tシャツ他衣料品を提供。病気の子どもたち用経口再水和塩(oral rehydration salts)、医療物資、シエルター装備品(テント、毛布、他)支援物資の供給。	
			—	—	UNICEF Sri Lanka ◇1	要請額 Some \$6,000,000 ◇1	◇1 UNICEFとしてアピールを要請予定	
		28	—	—	UNICEF	—	医療物資、シエルター物資、教育用具一式、緊急衛生物資、経口再水和塩(oral rehydration salts)、レクリエーション用具一式の提供	
			—	ベルギー政府	ベルギー政府 (UNICEF)	—	20トンの防水布とテントをのせた輸送機がドバイを出発予定	
		29	—	—	UNICEF teams	—	スタッフをスリランカ中に動員し、現地で人々を避難させ、毛布やベッドシート、飲料水、医薬品などの緊急援助物資を配布する。	
			—	—	UNICEF	—	UNICEFは物資の基準リストをつくり、様々な種類の災害緊急対応に備えている	
			—	Jackie Chan (UNICEF Goodwill Ambassador) ☆2	UNICEF	US\$64,000 ☆2		☆2 津波災害援助支援としてThe New World Group を介してUNICEFへ寄付された
		30	—	—	UNICEF	—	物資輸送機がColomboに到着。15の緊急保徳キット、150,000袋の経口再水和塩(oral rehydration salts to combat diarrhoea)、テント20セット、School-in-a-box kits、recreation kitsが積まれていた。	
			—	Thai Airways flight	Thai Airways flight (UNICEF)	—	追加の緊急衛生用具一式セットをのせた輸送機が29日にコペンハーゲンを発ち、30日にインドネシアに到着予定	
		31	—	—	UNICEF Sri Lanka	—	引き続き水ポンプ、移動式水タンク、バケツ、水浄化タブレットを配布する	
			—	—	UNICEF Sri Lanka	—	100,000リトルの飲料水の供給	
2005	1	2	—	UNICEF	UNICEF	—	UNICEF Executive Director Carol Bellamy が視察。同時にユニセフの支援するシエルターに毛布、マット、清水利りのダンカー、子供用レクリエーション物資を供給	
		5	—	—	UNICEF	—	1月20日までにスリランカの全ての学校を再開することを誓った	
			—	—	UNICEF	—	"school-in-a-box" kits 3,000セット以上が270,000人以上の子供へ配布された	
		7	—	—	(The Indonesian Department of Social Services)	—	(児童虐待対策のためのChild registrationが開始)	

年	月	日付		出資機関	実施機関	援助額	支援内容	メモ
		情報ソース 発行日	情報ソース内 記載 実施日					
2005	1	8		The public Danish TV stations ●3	\$35,000,000 ●3	UNICEF Denmark、人道支援団体のための資金調達プログラム（16時間で\$35 millionの寄付が集まった）	●3 UNICEF Denmark、人道支援団体の津波支援活動に向けて	
		12		UNICEF △4	要請額 \$144,500,000 △4	△4 UNICEFとしてアビールを要請 UNICEFは、150万人といわれるアジアの被災児童の緊急人道支援のため。		
		12. 13		David Beckham (UNICEF Goodwill Ambassador) Manchester United football 選手 ■5		■5 30秒間の公共アナウンスサービスで、寄付を呼びかける	■5 世界のUNICEFオフィスの資金調達支援とUNICEF緊急援助活動を支援	
		13		日本政府 ◇6	US\$70,000,000 ◇6		◇6 UNICEFへ寄付	
		13		Manchester United (The football club) ★7	21,720 pounds ★7	試合中にファンから集めた	★7 UNICEFへ寄付	
				Manchester United (The football club) ○8	50,000 pounds ○8		○8 UNICEFへ寄付	
				Manager and his player of Manchester United ▲9	100,000 pounds ▲9		▲9 UNICEFへ寄付	
				Association of Tennis Professionals (ATP) ■10	\$40,000 ■10		■10 UNICEFへ寄付	
		24		Latin America and Caribbean の 国々 (チリ、メキシコ、ブラジル、アルゼンチン、ガイアナ、エクアドル、コロンビア、ベネズエラ) ★11	\$1,500,000 ★11	津波災害被災者のための義援金調達活動を支援 (1月24日時点で)\$1.5 million の寄付を集めた	★11 UNICEFへ寄付	
		25		The British national carrier	—	British Airways が週に10回のフライト*1でUNICEFの緊急援助物資輸送を支援する。 (無償。3月まで)	*1 津波被災国を対象。特にコペンハーゲンとスリランカ・インドネシア・モルデティブ間を飛ぶ	
				British Airways	—	これまで、"Change for Good"プログラムによる18 million pounds (\$33 million)の義援金調達は実施。1月にプログラムにより集められた寄付全額をUNICEFの津波支援へ寄付する	UNICEFへ寄付	
				The Read-a-Thonに参加している 1300人以上の小學生 (New York) ○12	US\$40,000 ○12	○12 義援金調達活動を支援	○12 UNICEFの津波支援にむけて寄付	
				UNICEF	—	構築、水浄化プラント、水タンクが配布され、The Ministry of Urban Development and Water Supply をトイレ・水施設を北東・南部スリランカの106校の学校と20ヶ所のキャンプに提供する点で支援している		
				UNICEF / パートナー機関	—	安全な飲料水ポイントの設置、下水処理設備建設開始、入浴設備、シエルトアの供給		

年	月	日付		出資機関	実施機関	援助額	支援内容	メモ
		情報ソース発行日	情報ソース内記載実施日					
2005	1	31		New York's Chinese Community △13		\$180,000 △13		△13 UNICEFへ寄付
	2	8		—	UNICEF	—	学校再開に伴い、教育用具一式(教科書、教材、家具、制服)の支援・輸送支援	
		10		—	UNICEF (政府機関と協力のもと)	—	政府機関と協力して、子供の登録と基本的家庭用品、教育装備を供給を行う	
	3	1		—	UNICEF/パートナー機関	—	小児保健のための住民意識向上活動支援(キャンプにパンフレットを置く等)	
		10		—	UNICEF/パートナー機関(The local government water boardの協力のもと)	—	350個の水タンクをGalle一体に設置	
これまでのまとめとして※								
2005	3	23					<p>子供にはかのワクチンとビタミンAの供給</p> <p>母乳で育てる重要性と安全な健康習慣に関するパンフレットの配布</p> <p>下痢防止用経口再水和塩(oral rehydration salts)、点滴の配布</p> <p>迷子・孤児等の追跡・登録のためのセンターをアチエに17ヶ所設置</p> <p>ストレスを抱える子供たちをケアできる先生・カウンセラーの供給</p> <p>"Back-to-Learning"のキャンペーンを開始</p> <p>仮設の学校や生徒が線列している学校の追加スペースの供給</p> <p>教育用具一式の提供(地雷処理、洪水に関するメッセージを含む)</p> <p>1,500ヶ所以上の緊急トイレの設置</p> <p>飲料水、下水処理施設の整備の徹底、衛生設備の再建(学校・ヘルスセンター・キャンプ等)</p> <p>緊急支援物資(緊急衛生用具一式、蚊よけネット、経口再水和塩(oral rehydration salts)、水浄化用タブレット、緊急医療用具一式、防水布、教育用具一式(School-in-a-box kits)、レクリエーション用具一式)の供給</p>	

※: UNICEFが津波災害支援としてインドネシアを対象とした支援内容がまとめられているが、各支援別日付、援助金額は明記されていない。(3月23日時点のまとめ報告から)

—: UNICEFの可能性があるが、出資機関、出資額は、明記されていない。

出典: www.unicef.org/emerg/disasterinasia

年	月	日付	情報ソース 発行日	情報ソース内 記載 実施日	出資機関	実施機関	援助額	支援内容	メモ
2005	1	7	(6)		UNHCR	UNHCR		UNHCRのチームリーダーがヘリコプターによるアチエ西側海岸、シムル島の評価活動に参加 現在、9人の国際スタッフ、4人のハンダアチエの地元スタッフ、さらに7人の国際スタッフと3人の地元スタッフが運来に到着予定。来週の初めには16人編成の緊急チームが派遣予定。	
			(7)		UNHCR	UNHCR		緊急援助チームが病院や自衛的居住地域を視察、シエルトアや健康状態の評価活動を実施 テントで生活しているIDPキャンプを訪れる	
		9			UNHCR	A UNHCR community services officer UNHCR's emergency team のメンバー2人 / OCHA代表者	US\$23,000	ヘリコプターで共有オフィスを設置するためにムラポーへ オフィスを共有するのは他にWFP, UNICEF, The UN Joint Logistics Centre, UNSECOORD.	
		11	(9)		UNHCR	IOM		軍を使った輸送に失敗した後、民間の輸送手段を使って物資を運んでいる。10日にはUPSのサービスを使って、1,900セットのテントがハンダアチエに運ばれる。	
			(10)		UNHCR	UNHCR		トラックによる16トンのプラスチックシートの輸送支援(ジャカルターメダン間)	
		12	(13)		UNHCR	A UNHCR commercial charter		16. 5トンの緊急援助物資と3. 5トンの情報伝達装置の支援 物資輸送のための民間航空機のチャーター代	
					UNHCR	U.S.		ハンダアチエへ16トンの物資を運ぶ。この輸送は、民間の輸送機を使う2回目。 数百トンの支援物資をのせた商用トラック8台がハンダアチエに向かい出発する	
		14			UNHCR	UNHCR		ヘリコプターによる4. 2トンのUNHCRシエルトア物資の輸送支援 およそ2,000セットのテントがハンダアチエで配布し始められた	
					UNHCR	UNHCR		今週末には400トン以上の物資の80-70%がスマートラ北部に輸送される予定。 Lamnoでセキリチアセメント活動が行われた。	
		18			UNHCR	UNHCR		カラング(Calang)に250セットのテント、2,000枚の毛布、20ロールのプラスチックシート、400セットの調理器具、400個の便器カン等物資が届いた。	
					UNHCR	The Swiss Government The Swiss Super Puma		3機のヘリコプターがメダン〜ムラポー〜カラング(Calang)〜ハンダアチエ〜メダン間をローテーションしながら物資を輸送する ムラポーでおよそ1,000人の避難民(IDPs)のために、緊急シエルトアキャンプを設置している途中	
					UNHCR	UNHCR		インドネシア公共事業省から、アチエ周辺で3万人を対象にした24箇所の臨時宿泊センターを設立する彼らの計画のインプットを頼まれた。彼らはUNHCR が提案する変更点を受け入れた。UNHCRは、これらのセンターの管理・運営はしないことを強調した。	
		25			UNHCR	UNHCR (CARE, MSF)		現在、ムラポー、カラング(Calang)、ラムノー(Lamno)で活動している。物資はヘリコプターでカラングへ4. 5トン、ラムノーへ8. 5トン近々輸送される。 ハンダアチエ、ムラポーでの小規模な物資の配布にはCARE、MSFと協力して行う	

年	月	日付	日付		出資機関	実施機関	援助額	支援内容	メモ
			情報ソース 発行日	情報ソース内 記載 実施日					
2005	1	27				UNHCR		ムラポー地区のシェルター活動のコーディネートをとる	
		28		The National postcode Lottery in the Netherlands O2		UNHCR	1,000,000 euro O2	ムラポーのLehang village にあるキャンプでは新しくデザインされた軽量のポリエステルテンツトが使用され、Oxfamによってトイレと水施設が完成すれば、このキャンプで170世帯が生活できる	O2 UNHCRへ寄付
						UNHCR		カラング(Calang) のチームは南部の村々へ輸送できるかアセスメントを行っている。	
						UNHCR	—	ラムノー(Lamno) には10日前にオファイスが開かれ、これまで、159セットの家族用テント、1,568枚の毛布、754セットの調理用具が、避難民(ホストファミリー)といふIDPs、自発的に居住するIDPsの両方に配布された。	
						UNHCR / UNDP		チュノム(Teunom) を視察	
				Rotary International		UNHCR		シェルターセット("Shelter boxes" 10人用)、250セットを配布する準備している	
						UNHCR	—	Alu Peunyareng のキャンプでの活動が開始する	
						UNHCR		インドネシア政府へ長期の開発、恒久的シェルターについての技術的アドバイスを行う	
	2	4				UNHCR		シェルターの解決策を調整する。被災者がどこに住みたいのか、何が重要なかが焦点。	
								Perum Nas Lapaang でのキャンプが開かれ、112世帯が住む。インドネシア当局は、今までホストファミリーと暮らしていた135世帯をキャンプに移動し、追加で56のテントを建てた。	
	3	1	(2/27)			The Swiss Super Puma 3機		最後のミツジヨンを終えて帰還準備をしている。6週間の活動のうち、シェルター、支援物資、300トン以上をアチエ西海岸の遠隔地へ運んだ	
								政府の復興計画の発表に応じて、アチエ州での緊急支援活動からの退却が12日から開始され、25日までに活動の引継ぎ等を終了させる見込み。	
		24						既に、ラムノー、カラング、ムラポーのオファイスを閉めた。	
								インドネシアの支援活動のために要請されたUS\$60 million のうちUS\$ 7million が使われ、US\$33 million が未使用のままである。今後復旧フェーズの活動に参加しない場合、ドナーとそとの資金の使用方法を検討する。	

一： UNHCRの可能性があるが、出資機関、出資額は、明記されていない。

出典： www.unhcr.ch

A4. 12 UNHCRによるスリランカへの支援

年	月	情報ソース 発行日	情報ソース内 記載 実施日	出資機関	実施機関	援助額	支援内容	メモ
2004	12	27			UNHCR		スリランカ政府と国連機関で会合があり、UNHCRは、以前紛争地域だったスリランカ東部への援助アイテムの輸送に専念することが決定された。	
					UNHCR (Sriecting Vluchteling (Dutch NGO) の協力のもと)	\$280,000 相当の物資	18,000 枚のプラスチックシート、17,000 枚のプラスチックマット、ロープ、非食料援助2,000世帯分(調理器具、プラスチックゼリー缶、蚊帳、衣料品を含む)を 提供	
					UNHCR	\$380,000 相当の物資	23,500 枚のシエルター用プラスチックシート、24,500 枚のプラスチックマット、 衣料品、タオル、調理器具20,000 セットの配布	
					UNHCR	—	7つのオフィスと95-100(113-Jan2)人のスタッフを使って、7,000-8,000 被災世 帯を対象に、援助物資の輸送を引き続き行っている。(Colongo, Hambantota, Mallativu, Trincomalee and Jaffnaへ)	
2005	1	2			UNHCR	—	スリランカで活動する最大の国連機関として、津波発生翌日から、物資の配布を 開始し、上記都市の他、Ampara, Batticaloa, Galleへも物資の供給を行っている。	
					UNHCR	—	5つの移動可能商品保管庫 (portable warehouses: 最大1,000 cubic metric capacity) が近々、到着する。これにより、UNHCRの保管キャパシティは拡大す る。	
2005	1	3			UNHCR	—	5つの移動可能商品保管庫の他、20,000 枚のプラスチックシート、20,000セット の調理器具も到着する予定	
					UNHCR		津波発生翌日に保管庫を開き、保管してあった物資の配布を行っている。	
					The Senior Official in charge of global operations		スリランカを視察予定	
					UNHCR ★1	要請額 US\$75,000,000 ★1	★1 特に、インドネシア・スリランカ・ソマリアの3カ国に対して、6ヶ月間の 支援活動のため。特に、シエルターの供給、食料以外の援助、ロジスティック面 での支援	
							★1 内訳	
						US\$60,000,000	アチエ西海岸の最大175,000人を対象とした一時的、長期的シエルターと食料以 外の援助物資	
						US\$15,000,000	スリランカの100,000人をカバーする緊急シエルターと非食料援助と、日々拡大す る800,000人以上の避難民(IDPs)に配布するネットワークとロジスティックスの ため	
						US\$500,000	ソマリアの5,000世帯分のシエルター物資、援助物資の提供のため	
					UNHCR	—	物資在庫補給のため航空機での物資援助支援予定	
					UNHCR	—	5つの移動可能商品保管庫 (portable warehouses)、10,000枚のプラスチック シートが、コロンポに到着予定。	
						(8)		★1 A Joint UN appeal (flash appeal) の一部として要請される予 定

年	月	日付	情報ソース内 情報ソース 発行日	情報ソース内 記載 実施日	出資機関	実施機関	援助額	支援内容	メモ
2005	1	7	—	—	UNHCR	UNHCR	—	(翌週には)追加の20,000セットの調理器具が到着予定 余分な援助物資を週末にはスリランカへ運び、既に配布されて空になった保管 庫全ての補充をする。	
		10	—	(10)	—	UNHCR's logistics and supply teams	—	60トンの緊急援助物資がコロμποに到着した。 WFP, UNICEF, IOM と協働する	
			—	—	UNHCR	UNHCR	—	5つの移動可能商品保管庫 (portable warehouses) は、Kilinochchi, Trincomalee, Batticaloa, Ampara, a southern location に送られる予定	
		11	—	—	UNHCR	UNHCR	—	南部へチームを送り、長期の津波被災者のためのシェルター、書類作成ニーズ について議論する	
			—	—	A UNHCR protection team	A UNHCR protection team	—	Galle の臨時宿泊センター3ヶ所を訪れ、政府の「20日までに全ての避難民(IDP s)を移動させる」発表に応じた。これは、学校を宿泊センターとして利用している ため、学校再開に伴って決定された。	
		14	—	—	UNHCR	UNHCR	—	スリランカ政府へ、海から300mのフリーゾーンを作り、新しい法律によって土地 権利を確認する必要性についてアドバイスした。	
		18	—	—	UNHCR staff	UNHCR staff	—	避難民 (IDPs) に、臨時宿泊センターについて彼らの詳細なニーズについて議論 し、地元権政者との議論に反映させるつもりである。	
			—	—	UNHCR	UNHCR	—	Kilinochchi と Mullaitivu の全ての臨時宿泊センターへの物資配布を終了した。	
			The Saudi Red Crescent Society	—	UNHCR	UNHCR	\$305,000	4機の航空機による2,000セットのテントをヨルダンの保管庫から、スリランカへ輸 送を開始する。	
			Kuwaiti NGO, International Islamic Charitable Organization	—	UNHCR	UNHCR	\$42,000	海路で5,500セットのテントが輸送される予定	
		19	—	—	UNHCR / British Navy Airforce	UNHCR / British Navy Airforce	—	British Navy Airforce と連携し、Kallar の1,500人の避難民 (IDPs) のための非食 料アイテムの輸送を行う。(陸路でアクセス出来ない)	
			—	—	UNHCR / Oxfam / ICRC	UNHCR / Oxfam / ICRC	—	Batticaloa では南部の町をUNHCRが、中心と北部をUNICEF, Oxfam, ICRCが協 力して物資支援配布を行う。 毎朝、情報交換のために会い、支援の重複を防ぐ。	
		25	—	(25)	UNHCR	UNHCR	—	4機の航空機による2,000セットのテントをヨルダンの保管庫から、スリランカへ輸 送を終了する。	
		28	The National postcode Lottery in the Netherlands O2	—	—	—	1,000,000 euro O2	1,000セットのテントをMatara と Kalutara, Ampara へ、もう1,000セットをVavuniya へ 送った。さらに、5,500 セットは海路で輸送中である。	O2 UNHCRへ寄付
			American NGO, AmeriCares	—	—	—	—	2月の中旬にパキスタンからの2,500 セットとともに到着予定。	

年	月	日付		出資機関	実施機関	援助額	支援内容	メモ
		情報ソース 発行日	情報ソース内 記載 実施日					
2005	1	28	—	UNHCR	UNHCR	—	中国から、12,000枚のプラスチックシートが9月の中旬に到着予定。 UNHCRとパートナー機関で、今週シエルターに対しての政策で合意した。2つのモデルを開発し、1つは移動可能なシエルター、2つ目は部分的に被害を受けた家を修理するための物資。	
			—	UNHCR	UNHCR	US\$3,000,000相当の物資	シエルターについて第2フェーズの一部として、300,000枚のtin sheetsを配布予定。	
			—	UNHCR	UNHCR	US\$65,000相当の物資	シエルターについて第2フェーズの一部として、ceiling wood beamsを配布予定。	
			—	UNHCR	UNHCR	—	シエルターについて第2フェーズの一部として、セメント、砂利、木材、くぎ等の建設資材を配布予定。	
			—	UNHCR	UNHCR	—	大変脆弱な避難民(IDPs (未亡人、子供、老人))を引き続き監視していくと同時に、ニーズアセスメントも行っていく。	
2	4		—	—	—	—	ニーズアセスメントを10日間で、300世帯(Ampara, Galle, Jaffna)に対して行う予定	

—: UNHCRの可能性があるが、出資機関、出資額は、明記されていない。

出典: www.unhcr.ch

A4.13 WFPによるインドネシアへの支援

年	月	日付		出資機関	実施機関	援助額	支援内容	メモ
		情報ソース発行日	情報ソース内記載実施日					
2004	12	28		WFP ★1		US\$1,500,000 ★1	★1 緊急食料支援 被災地から近いところから即時対応するための食料購入に使われる緊急チームを派遣し、即時アセスメントと食料配布を支援する	★1 スリランカ・インドネシア・タイの津波被災者に向けて
		31		主に、オーストラリア、カナダ、フィンランド、EU、フランス、日本、スペイン、スウェーデン、イギリス、アメリカ O2		More than US\$550,000,000 Pledged O2	O2 被災者へ食料支援と物資輸送支援のため	O2 津波災害被災国を対象に
2005	1	6		WFP ▲3	WFP ▲3	要請額 US\$258,000,000 ▲3	▲3 アジアからアフリカまで津波被災国のむこう6ヶ月間、2百万人被災者への食料支援のため 内訳	▲3 UN フラッシュアピールの一部として要請
						US\$185,000,000 ▲3	▲3 169,000 数トンの食料が2百万人を支援するために必要になる見込み	
						US\$71,000,000 ▲3	▲3 ロジスティック、交通・通信支援のために見込まれる費用	
				WFP			インドネシアアチエ州、北スマトラ州の100,000人に食料支援が届いている 百万人の津波生存者に食糧支援を提供することが目標	
				WFP ★4	WFP ★4	要請額 Some US\$24,000,000 ★4	★4 基本的なロジスティック・輸送・保管支援のため要請	★4 津波災害支援活動全般において
				WFP △5	WFP △5	要請額 US\$42,000,000 △5	△5 人道支援活動のための空輸支援のため要請	△5 津波災害支援活動全般において
				WFP ◎6	WFP ◎6	要請額 US\$3,900,000 ◎6	◎6 A joint UN logistics centre の設立と運営	◎6 津波災害支援活動全般において
				TNT	TNT	US\$3,250,000 相当のサービス	輸送・保管支援等で協力	
				TPG/TNT, the Boston Consulting Group, Unilever, the International Rugby Board	TPG/TNT, the Boston Consulting Group, Unilever, the International Rugby Board	—	輸送・保管支援等で協力	
		8			WFP		WFP Executive Directorが、4日間、インドネシアを視察後、国連、他援助団体のインドネシア、他被災地への輸送支援のため、マレーシアに人道空輸基地を設立することを発表した。 (The Royal Malaysian Air Force とのパートナーシップのもと、WFPによって)	

年	月	日付		出資機関	実施機関	援助額	支援内容	メモ
		情報ソース 発行日	情報ソース内 記載 実施日					
2005	1	8	(7)	WFP, RMAF, UNHAS, UNJLC			人道空輸ハブが、マレーシアのクアラルンプールにあるThe Subang Air Base で機能し始めた	
		17		日本政府 ◆7		US\$60,000,000 ◆7	緊急食料支援とロジスティクス支援	◆7 WFPへの寄付
							内訳	
						US\$50,000,000 ◆7	◆7 インドネシア、スリランカ、モルディブ、他への緊急食糧支援	
						US\$10,000,000 ◆7	◆7 ロジスティクス支援	
		18		Food group Danone ◇8		-	百万セットのビスケット	◇8 WFPへの寄付
					アメリカ・オーストラリア・デン マーク・ニュージーランド・マ レーシア・インドネシア政府	-	各国の軍による輸送・分配手段の支援	
				WFP			4,200トン以上の米、栄養の高い種類・ビスケット等を陸路、ヘリコプター、輸送機、海 路で届ける	
							500トンの魚の缶詰をフェリーでバンコクからバンダアチエへ輸送開始	
							輸送機ではおよそ45トンを一回の飛行で届けることが出来るが、3,000トンの船 で、2,200トンの米、24トンのビスケット、6.5トンの種類をムラボーへ今週末までに輸 送、到着予定	
		25		Unilever ★9		US\$500,000	資金提供か以下の物資の購入費かは不明	★9 WFPへの寄付
							借用とインドネシア、スリランカでの食料配布ネットワーク、トラックや鉄道の支援	
				Food group Danone ●10			50万セットのビスケットと30,000本の飲料水	●10 WFPへの寄付
				The Indianapolis Colts football team △11		US\$110,000	US\$110,000 を寄付	△11 WFPへの寄付
				The Boston Consulting Group ◆12			彼らのスタッフをボランティアとしてWFPのバンコクRegional Bureau に派遣した	◆12 WFPへの寄付
				The American Red Cross ◎13		US\$500,000,000	インドネシア、スリランカ・モルディブに向けた緊急食料支援分配	◎13 WFPへの寄付
2		2		The US Food For Peace office of USAID, The US Department of Agriculture ■14		US\$30,000,000	資金提供か以下の物資の購入費かは不明	■14 WFPへの寄付
							米 15,000 metric tons, 2,460 トンのcorn soya blend, 1,000 トンのyellow whole peas, 5,450 トンの袋詰の米, 2,310 トンのベジタブルオイル	
							食料支援配布は、350,000 人のprimary school の生徒、55,000 人の妊婦、母乳を出し ている母親、5歳以下の子供130,000人、タイケアにいる8,000人の子供をターゲットに してきている	
3		3		WFP	WFP		暮らしの再生のためfood-for work を被災者へ行っている。世界銀行、ADBらに可能 なパートナーシップについて議論している	

年	月	日付	情報ソース		実施機関	援助額	支援内容	メモ
			発行日	情報ソース内記載実施日				
2005	3	17	ハンガリー政府 ◇15	Ft 10 million (US\$55,000) ◇15	WFPの食糧支援全般の一部に利用される	◇15 WFPへの寄付		

支援活動開始から6ヶ月間のまとめ報告より								
▲								
			UNHCR	目的※1 1) 脆弱な母・子供の栄養状態の悪化を防ぐことにより、彼らの命を助ける 2) 住居、コミュニティのインフラ、生活の復興と再建を促進する				
			UNHCR	US\$185,460,688 が見込まれる	本緊急支援活動はスリランカ、インドネシア、モルディブ、他インド洋周辺の諸地域における2百万人の緊急食料支援ニーズに充てる予定 ※1 上記得益人口国別内訳 インドネシア 1,000,000 人 スリランカ 750,000 人 モルディブ 50,000 人 他 200,000 人		※1 津波災害被災者を対象とした支援活動において 6ヶ月間(2005年1月1日～2005年6月30日)の活動	
			UNCT (UN Country Team) / WFP / OCHA		支援活動実施に際して、コアグループの国々(アメリカ、日本、オーストラリア、インド)が、タイのUtapao Airbase を地域のコーディネーション拠点に、津波災害対応において軍の支援提供の先頭になつた。※1 アセスメントは、全ての被災国で政府当局の協力を得て、各国の被害程度を考慮するため、行われる。※1 全ての支援活動は、国レベルでBAKORNAS PBP を通じて調整され、さらに被災地の既存の地方組織を通して調整される			
					ジャカルタのWFP's Country Office、メダン、バンドアチエのsub-officesに加え、いくつもの現地field officesが被災地域で設立される予定。1番の活動拠点はバンドアチエになる予定。米はメダンにThe Bulog (The National Logistics Agency)によって保管される。他援助物資は、各地方保管庫に保管されるか、直接輸送される。空輸に関しては、UNJLCと協力し専用の施設によって管理される。			
			WFP		インドネシア赤十字(PMD)や地方・国際NGOと援助食糧配布において協力して活動する			

- WFPが実施機関の可能性があるが、明記されていない。

▲ 報告発表日/報告内記載活動実施日ともに明記されていない。インターネットより情報を確認(2005年8月)

出典: www.wfp.org

www.wfp.org/newsroom

A4. 14 WFPによるスリランカへの支援

年	日付		出資機関	実施機関	援助額	支援内容	メモ
	情報ソース発行日	情報ソース内記載実施日					
2004	12	28	WFP	政府機関 (The Ministry of Relief, Rehabilitation and Reconciliation (MRRRR), 他)	US\$1,500,000 ★1	169トンの食料支援が、12地区(Ampara, Batticaola, Trincomalee (East), Hambantota, Matara, Galle (South))へ送られた	★1 スリランカ-インドネシア・タイの津波被災者に向けて
		31	WFP ★1		US\$500,000	被災地から近いところから即時対応するための食料購入に使われる	
			主に、オーストラリア、カナダ、フィンランド、EU、フランス、日本、スペイン、スウェーデン、イギリス、アメリカ		More than US\$550,000,000 Pledged O2	O2 被災者へ食料支援と物資輸送支援のため	O2 津波災害被災国を対象に
2005	1	2	WFP			5,000トンの米、小麦粉、レンズマメ、砂糖等の備蓄された食料が、被害の大きい地域へ運ばれる。1月6日までに、750,000人に2週間分の十分な食料を支援することを予定している。	
			WFP			Kilinochchi 地区のPallaiの近くにあるキャンプのおよそ6,000人に2週間分の食料を配布	
			WFP			(1月2日まで)210,000人に食料を配布し、1月2日には、320数トンの様々な食料(43,000人分の米、レンズマメ、砂糖を含む)を30台のトラックにのせ、出発した。	
			日本政府 ◇3		—	◇3 2,400トンの米	◇3 WFPへ寄付
		6	WFP ▲4	WFP ▲4	要請額 US\$256,000,000 ▲4	▲4 アジアからアフリカまで津波被災国のむこう6ヶ月間、2百万人被災者への食料支援のため	▲4 UN フラッシュアップの一部として要請
					US\$185,000,000 ▲4	内訳 ▲4 169,000 数トンの食料が2百万人を支援するために必要になる見込み	
					US\$71,000,000 ▲4	▲4 ロジスティック、交通・通信支援のために見込まれる費用	
				WFP		75万人の津波生存者に食料支援を提供することが目標	
				WFP ★5	要請額 Some US\$24,000,000 ★5	★5 基本的なロジスティック・輸送・保管支援のため要請	★5 津波災害支援活動全般において
				WFP △6	要請額 US\$42,000,000 △6	△6 人道支援活動のための空輸支援のため要請	△6 津波災害支援活動全般において
				WFP ◎7	要請額 US\$3,900,000 ◎7	◎7 A Joint UN logistics centre の設立と運営	◎7 津波災害支援活動全般において
		8	WFP	WFP		WFP Executive Directorが、4日間、インドネシアを視察後、国連、他援助団体のインドネシア、他被災地への輸送支援のため、マレーシアに人道空輸基地を設立することを発表した。(The Royal Malaysian Air Force とのパートナーシップのもと、WFPによつて)	

年	月	日付		出資機関	実施機関	援助額	支援内容	メモ
		情報ソース発行日	情報ソース内記載実施日					
2005	1	8	(7)	WFP, RMAF, UNHAS, UNJLC	WFP, RMAF, UNHAS, UNJLC		人道支援の空輸ハブが、マレーシアのクアラランパールにあるThe Subang Air Baseで機能し始めた 12月28日から10トンと15トンのトラックで食料を輸送している。家族の15日分の食料に相当する	
		12		WFP	WFP Sri Lanka		6月まで引き続き全てのスリランカ被災民に十分な食料を提供する予定	
		16		WFP	WFP		既存の現地オフィスは3ヶ所(Kilinochchi, Vavuniya, Batticaloa)。追加で、5ヶ所のオフィスを設置予定 (Ampara (east), Galle (south), Mullaitivu, Jaffna (north), Trincomalee (east))。現在スリランカに、109人のスタッフが働いている。 通常の食料支援に加え、栄養失調の子供、妊婦、母乳を出している母親を対象に、Corn-soya blend を提供する。 14の地方自治区に、食料を届けている。(Ampara, Batticaloa, Colombo, Galle, Campaha, Hambantota, Jaffna, Kalutara, Kilinochchi, Matara, Mullaitivu, Puttalam, Trincomalee, Vavuniya)	
		17		日本政府 ◆8		US\$60,000,000 ◆8	緊急食料支援とロジスティクス支援	◆8 WFPへの寄付
							内訳	
						US\$50,000,000 ◆8	◆8 インドネシア、スリランカ、モルデブ、他への緊急食糧支援	
						US\$10,000,000 ◆8	◆8 ロジスティクス支援	
		25		Unilever ★9 The Indianapolis Colts football team △10 The Boston Consulting Group ◆11 The American Red Cross ◎12		US\$500,000	資金提供か以下の物資の購入費かは不明 信用とインドネシア、スリランカでの食料配布ネットワーク、トラックや鉄道への支援	★9 WFPへの寄付
						US\$110,000	US\$110,000 を寄付	△10 WFPへの寄付
						—	彼らのスタッフをボランティアとしてWFPのバンコクRegional Bureau に派遣した	◆11 WFPへの寄付
						US\$50,000,000	インドネシア・スリランカ・モルデブに向けた緊急食料支援分配	◎12 WFPへの寄付
		2		The US Food For Peace office of USAID, The US Department of Agriculture ■13 TNT ○14 The global express △15		US\$30,000,000	資金提供か以下の物資の購入費かは不明 米 15,000 metric tons, 2,460 トンのcorn soya blend, 1,000 トンのyellow whole pwas, 5,450 トンの袋詰の米, 2,310 トンのベジタブルオイル 35台のトラックを提供し、スリランカの海岸沿い地域へ緊急食料支援を届けた	■13 WFPへの寄付
		3			WFP	—	輸送機 (Airbus A300) をBandaranaike International Airport を送り、portable warehouses を含めた34トンの援助貨物を運ぶ 今月から120,000人の子供を対象にした“A school feeding programme”を開始した。これは、彼らが学校で栄養スナックを配布されるプログラムで、津波災害前までの165,000人に追加した形。 また、栄養失調を防ぐため、200,000人の脆弱グループに属する人々と112,000人の母と幼児に対してcorn-soya blended food が配布され始める予定。 5. 6月には、277,000人支援し、道路や地元インフラの復興活動に取り組み予定	○14 WFPへの寄付 △15 WFPへの寄付

年	月	日付		出資機関	実施機関	援助額	支援内容	メモ
		情報ソース発行日	情報ソース内記載実施日					
2005	3	3			WFP		FAO、IOMと協同で、瓦礫除去活動、住居の建設、ポートやネットを提供することによる漁業再開を支援する予定	
		17		ハンガリー政府 ◇16	WFP	Ft 10 million (US\$55,000) ◇16	ILLOとともに、A Joint livelihoods and food security assessment を1月に行った。 WFPの食糧支援全船の一部に利用される	◇16 WFPへの寄付
							1,000人の1ヶ月分の小麦粉は、4月中旬頃コロンポに到着予定	

支援活動開始から6ヶ月間のまとめ報告より								
▲								
					UNHCR		<p>目的※1</p> <p>1) 脆弱な母・子供の栄養状態の悪化を防ぐことにより、彼らの命を助ける</p> <p>2) 住居、コミュニティのインフラ・生活の復興と再建を促進する</p> <p>本緊急支援活動はスリランカ、インドネシア、モルデブ、他インド洋周辺の諸地域における2百万人の緊急食糧支援ニーズに充てる予定 ※1</p>	<p>※1 津波被害被災者を対象とした支援活動において</p> <p>6ヶ月間(2005年1月1日～2005年6月30日)の活動</p>
					UNHCR	US\$185,460,688 が見込まれる	<p>上記被災人口国別内訳</p> <p>インドネシア 1,000,000人</p> <p>スリランカ 750,000人</p> <p>モルデブ 50,000人</p> <p>他 200,000人</p> <p>支援活動実施に際して、コアグループの国々(アメリカ、日本、オーストラリア、インド)が、タイのUtapao Airbaseを地域のコーディネーション拠点に、津波災害対応において軍の支援提供の先頭にたつ。※1</p>	
					UNCT (UN Country Team) / WFP / OCHA		<p>アセスメントは、全ての被災国で政府当局の協力を得て、各国の被害程度を考慮するため、行われる。※1</p> <p>全ての支援活動は、The Ministry of Relief, Rehabilitation and Reconciliation を通じて、The National Relief Operations Unit of the CNO と District and Divisional Disaster Management Authorities と連携して実施される。北西部では、The Tamil Rehabilitation Organization (TRO) と地LITE と共に活動する。また、LITEがスリランカ政府への支援を拡大したことにより、北西部の全ての地域へのアクセスが可能となることが期待される。食料支援分配はコミュニティレベルで多目的協力団体を通して調整、実施される。</p>	
					WFP		<p>地区レベルでの活動ではWFPと村レベルの地方政府代表、人民の代表が協力し行われる。幾つかのエリアでは国際・国内NGOらと協力し、特に北西部では支援物資配布の他、監視活動も行う。</p>	

— WFPが実施機関の可能性はあるが、明記されていない。

▲ 報告発表日/報告内記載活動実施日ともに明記されていない。インターネットより情報を確認(2005年8月)

出典: www.wfp.org

www.wfp.org/newsroom

A4.15 スリランカおよびインドネシアにおける日本の NGO の活動

スリランカ				
実施機関	期間	場所	内容	助成金
AAR 難民を助ける会	2004年12月28日 - 2005年1月04日 【8日間】	調査地：ゴール、マタラ	【調査項目】 ・現地被害状況の把握 ・ロジスティック等物資輸送可能性調査 ・緊急ニーズ(衣食住に係る)調査 ・学校・病院等の公共サービスの状況把握 ・政府、国連機関、他 NGO の支援状況	1,412,000 円
	2005年1月7日 - 2月20日 【45日間】	ゴール県ハバドゥーラ地区	・1,600 世帯に対して生活用品(鍋、包丁、食器など)を配布	7,440,000 円
BHN BHNテレコム支援協議会	2004年12月29日 - 2005年1月08日 【11日間】	調査地：ガレ、マタラ、ハンバントタ	【支援事業】 ・被災現場(3地域)での電話サービス展開 【調査項目】 ・政府、国連機関等からの被災状況把握 ・通信インフラに係る現地被災状況把握 許認可関係等基礎情報把握	2,232,000 円
	2005年2月7日 - 2005年3月23日 【45日間】	ゴール県、マタラ県、ハンバントタ県、アンパラ県、トリンコモリー県	・5県災害対策本部に対し、VHF無線網の確立(110台) ・ハンバントタ県に対し、FM放送網を確立	19,658,500 円
JCCP 日本紛争予防センター	2005年1月11日 - 2月24日 【45日間】	トリンコモリー県サリ村、サムトゥラガマ村、ウェライマンナル村、ナチクダ村)	・449 世帯分の避難用シェルターを設置 ・466 世帯分の住宅(199棟)、戸別トイレ(67棟)、共同トイレ(6棟)を緊急修復 ・1030 世帯に、衣類・その他配布(1030セット)、水・食糧配布(3週間分)(1,030セット)、生活用品(1030セット)を配布。	42,310,000 円
	2005年3月4日 - 6月24日 【113日間】	トリンコモリー県	・924 世帯に対し給水設備 22 基設置 ・768 世帯に対し共同井戸設置 4 基設置 ・1028 世帯に対し村内接続道路修繕(計 12 km) ・1002 世帯に対し仮設避難所兼公民館 3 棟設置 ・199 世帯に対し避難用シェルター 199 棟設置 ・108 世帯に対し共同トイレ(4室×10基)(仮設小学校設置 ・320 世帯に対し住宅修理 ・59 世帯に対し戸別トイレ修理 ・194 人に児童に対し仮設小学校 1 棟建設 ・339 世帯に対し基礎生活物資セット配布	63,806,602 円
ICA	2005年3月10日 - 3月16日 【7日間】		【スリランカにおける物資配布のためのニーズ調査】 ・物資配布・調達状況の確認 ・避難場所の生活実態調査 ・実施済み援助プログラムの調査	967,000 円
JEN	2004年12月	ハンバントタ	【調査項目】	1,995,920 円

ジェン	30日 - 2005年 1月08日 【10日間】	他	・現地ニーズ調査(食料、NFI,公共施設等) ・活動実施体制の調査 ・ロジスティクス調査	
	2005年1月20 日 - 3月5日 【45日間】	ハンバントタ 県	2,000世帯に対し、日常生活物資(キッチンセット, ランプ 他)を配布	18,643,000 円
NICCO 社団法人日本 国際民間協力 会	2004年12月 27日 - 2005年 1月05日 【10日間】	スリランカ南 東部海岸地域	【調査項目】 ・現地ニーズ調査 ・食糧、飲料水、シェルター、医療品等の状況 ・実施体制の確立 ・国際 NGO、政府、公共団体等との調整	1,584,170円
	2005年2月24 日 - 6月23日 【120日間】	ハンバントタ 県	コミュニティ・サポートセンターの建設 事業	調整中
HuMA 災害人道医療 支援会	2005年1月12 日 - 2月25日 【45日間】	アンパラ県	・外来診療所の運営(患者数:150人/日) ※JMTDR(JICA 国際緊急援助隊)活動継 承事業	9,989,500円
SCJ セーブ・ザ・チ ルドレン・ジャ パン	2004年12月 29日 - 2005年 1月05日 【8日間】	マタラ、ハンバ ントタ	【調査項目】 ・津波被害状況調査 ・ロジスティック等物資輸送可能性調査 ・衣・住に係る緊急ニーズ調査 ・政府、国連機関、他 NGO の支援状況	922,320円
	2005年1月12 日 - 2月25日 【45日間】	マタラ県、ゴー ル県	・3,000世帯に対して日常生活物資(蚊帳、 石鹸等)を配布	27,879,000 円
インドネシア				
PWJ ピース ウィン ズ・ジャパン	2004年12月 27日 - 2005年 1月10日 【15日間】	ナグ*ル・アチェ*タ*ル サム州他	【支援事業】 ・緊急配給事業(食糧、生活物資等) ・1世帯あたり15日分の食糧(米、麵、 油)・・・3000世帯分 ・生活物資(下痢薬、風邪薬、ビニールシート 他)・・・1000世帯分 【調査項目】 ・現地ニーズ調査等	13,010,940 円
	2005年1月11 日 - 2月24日 【45日間】	ナガン・ラヤ県	・22,000世帯に対して食糧・水及び衣料・ 生活用品を配布 ・ナガン・ラヤ県内の全保健所(6箇所) に対し医薬品を供与	76,038,400 円
BHN テレコム支援 協議会	2005年3月7 日 - 4月11日 【36日間】	アチェ州シグ リ市、ピレウエ ン市	3000世帯に対しラジオ受信機配布	9,220,890円

出典：ジャパンプラットフォーム、ホームページ

付属資料5：緊急支援時の調達方法の提言に関する資料

国内の災害時の応急復旧等の場合の事例から

国内の応急復旧等の場合、

「契約の性質又は目的が競争を許さない場合、緊急の必要により競争に付することができない場合及び競争に付することが不利と認められる場合においては、政令の定めるところにより、随意契約とすることができる」(会計法第29条の3④)

という条文により、随意契約を発動します。そして、随意契約の段階で、前渡金0とし、事後払いとします。

この場合、どこを随意契約に指名するかは、国が事前に地先業者等と直接協定を結んでいる場合は、それに従って、そうでない場合は、業団体と事前に協定を結んで運用しています。

(以上、国交省担当者に対する質問への回答)

従って、日本の会計法を適用しつつ、ニーズ調査など緊急を要する場合に随意契約で調査を開始するには、いくつかのコンサルタントと直接協定を結ぶかあるいは、業団体と協定を結んで運用するかの2つの方法があると判断できる。

しかしながら、現実的には、JICAが、随意契約をするコンサルタントの業界団体(防災に特化したものが必要であれば、新たに設立するか既存のコンサルタント業団体の中につくるか)との協定を結ぶのが、事後払いのスムーズな調達方式になると考えられる。

緊急プロジェクトや包括契約に関する現状と今後の提案

1 欧米のイラク関連支援契約方式など	2
1.1 英国	2
1.2 米国	2
2 アフガンでの無償事業の契約方式	7
2.1 Case1 コンサルタント契約に工事費が含まれるケース	7
2.2 Case2 Fast Track を意識して従来方式ながら工夫されたケース:	7
3 想定されるイラク復興プロジェクトの執行方法	7
4 今後の契約方式の提案	8

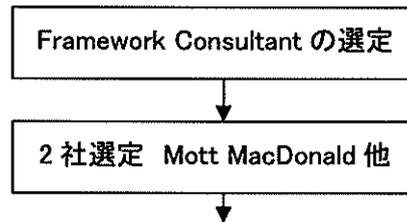
2005年2月 PCI 竹谷

緊急プロジェクトや包括契約に関する現状と今後の提案 竹谷メモ

オリジナル 2004/8 リバイス 2005/2

1 欧米のイラク関連支援契約方式など

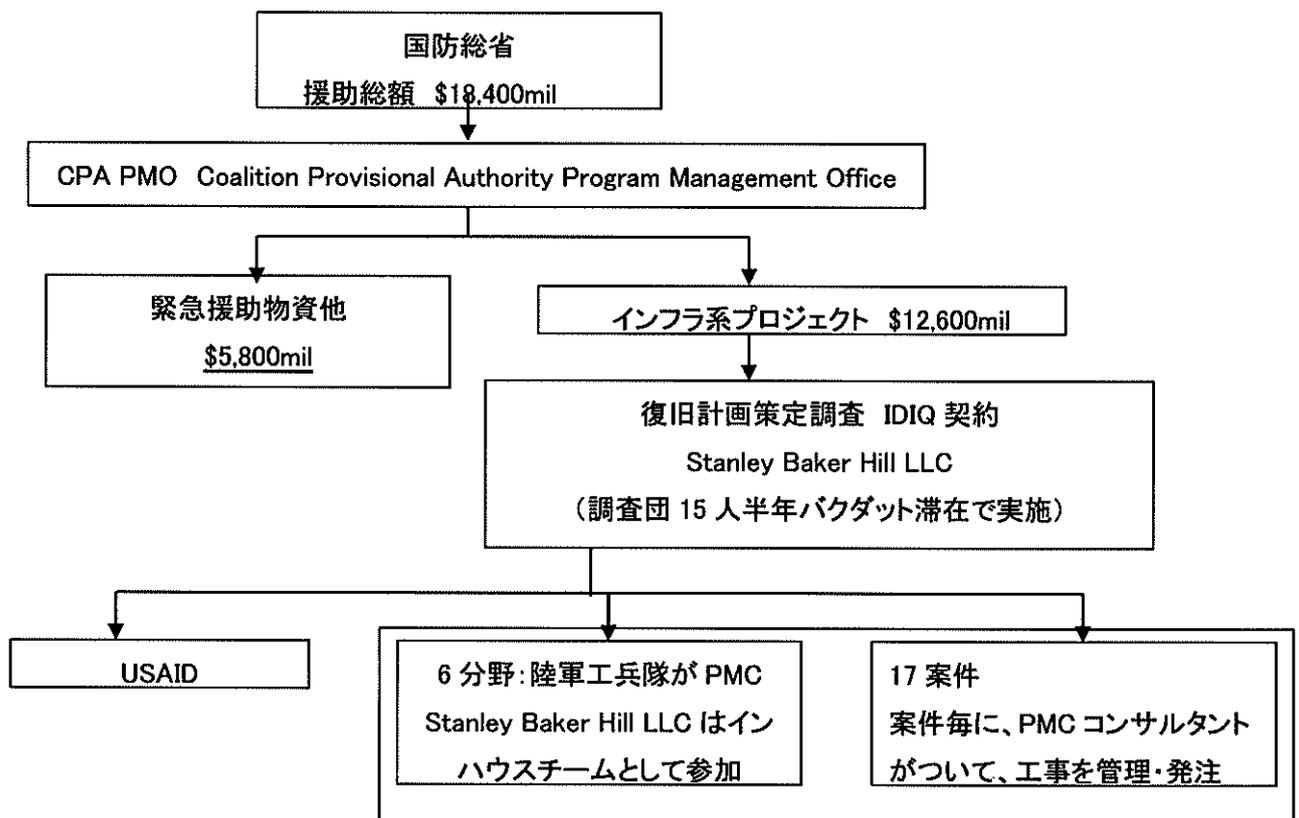
1.1 英国



- 契約は通常のコンサルタント契約と工事実施契約の組み合わせと思われる。

1.2 米国

- コンサルタント業務は、IDIQ 契約¹方式でいわば一括契約、JV で LLC²を設立
- 但し、工事を含めての包括契約は無いもよう。Implementation 段階ではデザインビルド³を採用



¹ IDIQ 契約 Indefinite Delivery & Indefinite Quantity (期間&数量不定)

² Limited Liability Company JV の場合にもよく使われる限定責任会社、\$80 程度で設立可能

³ 設計の大枠はコンサルタントが概定しており、いわゆる Shop Drawings に類する詳細構造計算以降の部分デザインビルドとしてコントラクターに引き渡されている。コンサルタント会社は CM/GCM (Construction Management with guaranteed maximum price)方式ではなく、General CM 方式として政府サイドに立つ。

CM の定義と内容については USA, Code of Federal Regulations, 41 Public Contracts and Property Management, Chapter 1 Federal Procurement Regulations, Part 1-4 Special types & methods of procurement, 1-4.1602-3 Construction management delivery systems 項参照

【参考】 IDIQ 契約方式: Indefinite Delivery & Indefinite Quantity (期間&数量不定)

米国連邦政府規程による記載によれば(抜粋)

Code of Federal Regulations 41「Public Contracts and Property Management」

Chapter 1 Federal Procurement Regulations

Part 1-3 Procurement by negotiation

ちなみに 1-2 は Procurement by formal advertising

つまり、本条項は通常の一般公示を経ない契約方式として位置付けられている

Subpart 1-3.4 Types of Contracts

1-3.409 Indefinite delivery type contracts.

下記の不定納期方式の契約は、契約時に正確な期間が不明な場合に適用されることがある。

- (a) 定量契約方式(Definite quantity contract)
- (b) 要求仕様契約方式(Requirements contract)
- (c) 不定数量契約方式(Indefinite quantity contract)

(1) 内容

この契約方式は、要求事項を指定された、或いは層別して指定された活動をする契約者に適時に発注された時に計画されている期間を持つ契約期間内に、決められた限度内の不定数量の指定仕様の財物又はサービスを指定契約期間内に提供する場合に適用される。状況によって、この契約は次の事項を適用する。:

(i) 確定価格、(ii) エスカレーション条項付き価格、(iii) 価格再決定(価格調整)

この契約では、政府は契約期間内に最小数量の財物又はサービスの発注をし、受注者はその最小数量を提供し、要求があれば、可能な限り現実的な最大数量を超えない追加発注分を提供する。最大数量は実績記録や過去の要求数量又は別の方法から得てもよい。大数量の注文や複数の仕事の注文が予想される場合、この契約では個々の注文で発注されるかも知れない又は規定された期間内に発注されるかも知れない最大数量を規定する。同様に、少数量が予想される場合には、この契約では発注最小数量を規定する。

(2) 適用

不定数量契約は、明確な期間内に要求された業務に必要な財物やサービスの正確な数量を決められない場合や、最少数量以上のものを約束することが政府にとって推奨できない場合に適用する。この契約方式の利点は下記のとおりである。

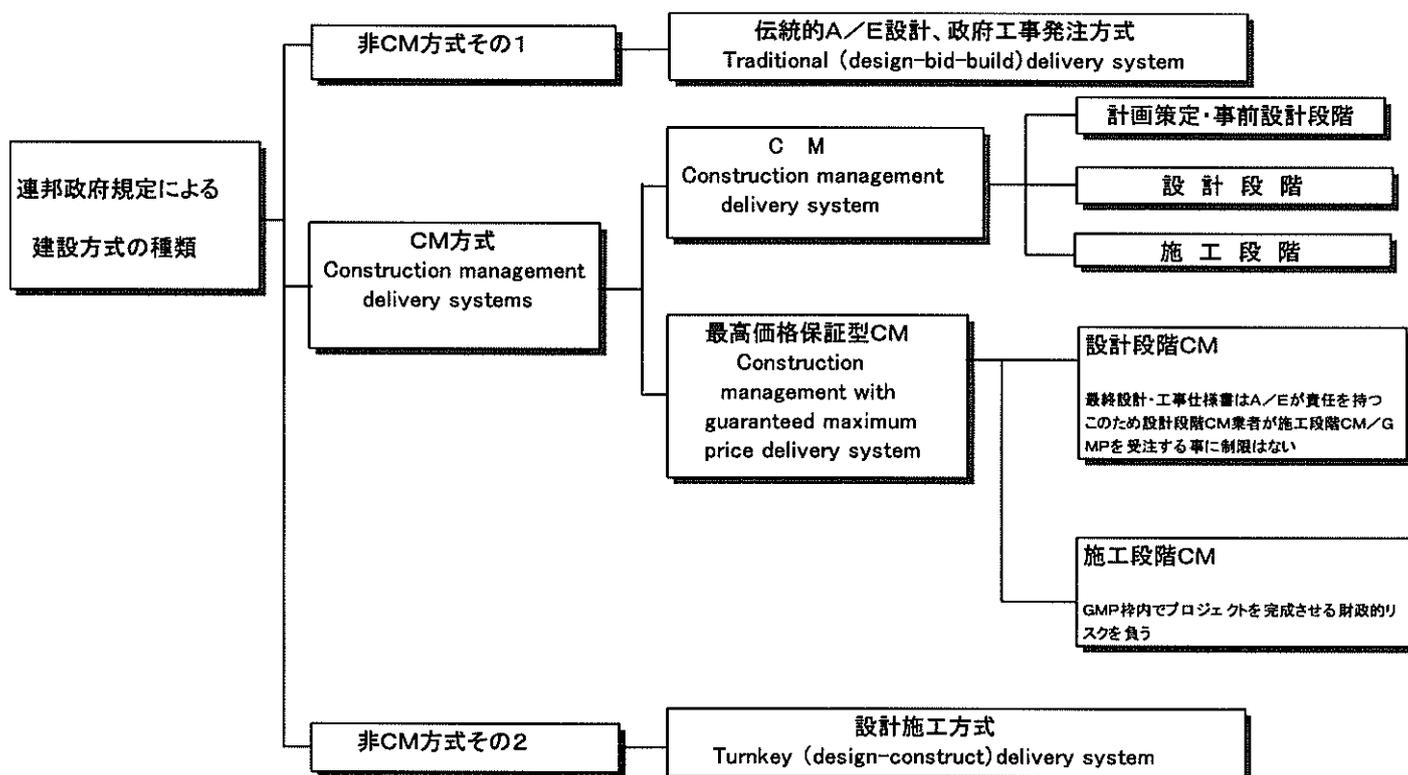
- (i) 数量と期間に関してフレキシブルである。
- (ii) 必要な財物やサービスを実際の必要性が確定した後で注文できる。
- (iii) 政府の責任は限定的なものである。
- (iv) 維持すべき在庫量を最小数量にすることが出来るし、ユーザーへの直接出荷を可能にする。

不定数量契約は、その事項又はサービスが大量生産型か変型大量生産型の場合や、繰り返し需要が想定される場合にのみ適用するべきである。

【参考】 米国連邦政府規程での CM、デザインビルドなどの分類と定義

米国連邦政府規程 Code of Federal Regulations 41 Public Contracts and Property Management Chapter 1 Federal Procurement Regulations 1-4 Special types and method of procurement Sub part 1-4-16 Construction Management (Professional) services から全体構造を理解し易いように整理して図化する。

なお、米国政府調達では、デザインビルドではなく、ターンキーと呼んでいる。



IDIQ 契約規程、コンサルタント調達規定、CM 会社調達規定、建設契約方式規程、などの各条項オリジナルについては別添参照。

【参考】 米国連邦政府規程での調達関連規程の構成

Code of Federal Regulations

Title 41 Public Contracts and Property Management

Sub Title A Federal Procurement Regulations System

Chapter 1 Federal Procurement Regulations

1-1 General

1-2 Procurement by formal advertising

1-3 Procurement by negotiation

1-3.4 Types of Contracts

1-3.409 Indefinite delivery type contracts

1-4 Special types and methods of procurement

1-4.10 Architect-Engineer Services

1-4.16 Construction Management (Professional) Services

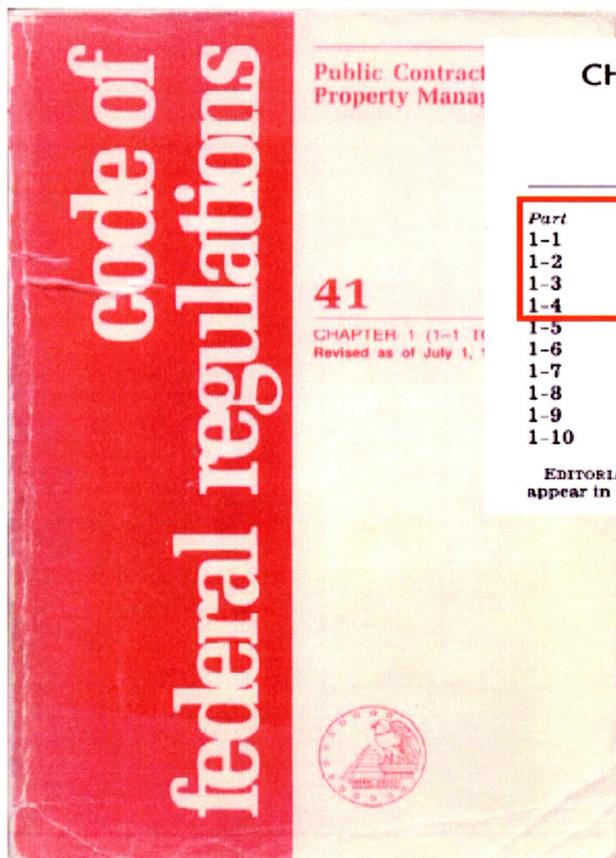
1-5 Foreign purchases

1-6 Contract clauses

1-7 Termination of contracts

1-8 Patents, data, and copyrights

1-9 Bonds and insurance



CHAPTER 1—FEDERAL PROCUREMENT REGULATIONS

Part		Page
1-1	General.....	6
1-2	Procurement by formal advertising	128
1-3	Procurement by negotiation.....	157
1-4	Special types and methods of procurement	367
1-5	Special and directed sources of supply	439
1-6	Foreign purchases	452
1-7	Contract clauses.....	467
1-8	Termination of contracts	537
1-9	Patents, c	
1-10	Bonds and	
	1-3.405 Cost-reimbursement type contracts.	
	1-3.405-1 General.	
	1-3.405-2 Cost contract.	
	1-3.405-3 Cost-sharing contract.	
	1-3.405-4 Cost-plus-incentive-fee contract.	
	1-3.405-5 Cost-plus-a-fixed-fee contract.	
	1-3.406 Other types of contracts.	
	1-3.406-1 Time and materials contract.	
	1-3.406-2 Labor-hour contract.	
	1-3.407 Additional incentives.	
	1-3.407-1 General.	
	1-3.407-2 Contracts with performance incentives.	
	1-3.408 Letter contract.	
	1-3.409 Indefinite delivery type contracts.	
	1-3.410 Other types of agreements.	
	1-3.410-1 Basic agreement.	
	1-3.410-2 Basic agreements with educational institutions and nonprofit organizations.	
	1-3.410-3 Basic ordering agreement.	

EDITORIAL NOTE: These parts appear in the Appendix.